

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	日韓両語の対照研究 : 両語のオノマトペの聴覚的印象の異同の検討
Author(s)	チェ エリカ ユンジョン,
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集, 21期 : 91 - 102
Issue Date	2007-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00038831
Right	
Relation	



日韓両語の対照研究 — 両語のオノマトペの聴覚的印象の異同の検討 —

チェ・エリカ・ユンジョン

第1章 研究の目的と理由

日本語と韓国語はよく似ているといわれている。人生の半分以上を外国のニュージーランドで過ごしたため、私の母語韓国語の日常生活に必要な表現力は身につけているが深い知識はなく、日本語を勉強している一人として、両語に対する関心が少なくない。私はそこで、日本語を習得するに当たり、日本語と韓国語を比べる研究をすることにより、両語の知識を深めることができると考えた。1年という時間の間に可能な研究主題として、漫画に用いられる擬声語と擬態語の比較にした。漫画を選んだ理由は、漫画には多くの擬声語と擬態語が見られるからである。特に、両国の若年層に共通して読まれる「クレヨンしんちゃん」は、他の漫画より擬音語と擬態語が多いと思った経験がある。また、表現力と特に擬声語・擬態語においては発音と形態が非常に似ているのという印象を持った。そこでこのテーマについてもっと詳しく調べることにした。

第2章 擬音（声）語と擬態語の特徴

多分集中的に擬声語と擬態語に対して勉強したことがなければその定義をはっきり説明するのはやさしいことではないと思う。ネイティブスピーカーといっても一度に教えてくれるのは無理かもしれない。なぜなら、私の研究について他の日本人と話したら、ぼやっとした姿で首を傾げた様子をしていたのである。

擬音語と擬態語は辞書に載っている化石化した語彙だけではなく、私たちの言語生活の中でよく使われている言語として文学作品でなく日常語、通信言語などを通じて絶え間なく新しい表現が作られている。その用法の中にも伝統的な文学のテキストだけでなく新聞記事のタイトルとか、通信言語、漫画、本のタイトルなどとして徐々にその活用の方が広がっている。

擬音語と擬態語はどう違うのだろうか。擬音語は物の音を真似た言葉であるのに対して擬態語は人とか物の様子とか動きを真似た言葉である。『擬音語・擬態語辞典』（浅野鶴子、昭和53年）には次のように説明してある。

擬音語：外界の音を写舌言葉

例) 子どもがせんべいをばりばりと食べている

擬声語：人や動物の声を表す言葉

例) 犬がわんわん吠え立てる。

擬態語：音を立てないものを、音によって象徴的に表す言葉

例) 星がきらきら輝いている。

擬容語：生物の状態を表す。

例) あたりをきよろきよろ見回している。

擬情語：人間の心情や感情を表す言葉

例) 一人でくよくよ悩んでいた。

擬音語と擬態語が活発に使われている代表的なテキストである小説、詩、新聞記事のタイトル、通信言語、わらべ歌、漫画、本のタイトルなど色々ある。

一方、韓国語の擬音語と擬態語の基本形は日本語のそれらと比べるともっとはっきりしていて、区別しやすいと言われている。たとえば、「ttok ttak- 똑딱」、「ttok ttak ttok ttak- 똑딱똑딱」、「ttok ttak georida- 똑딱거리다」、「ttok ttak danchu- 똑딱단추」、「ttok ttak sun- 똑딱선」の中にどれが、またはどれだけが擬音語かを決めようとすると答えは簡単である。「tteok ttak- 똑딱」が基本形と言える。結論から言おうとすると擬音語と擬態語は品詞設定の対照ではない。今まで使ってきた擬音語と擬態語と言う名前にも品詞が前提してない。それが独立した品詞に設定されるつもりだったらその名前も「擬音詞」か「擬態詞」と呼ばれた。だから擬音語と擬態語はある一つの品詞に属するのではなくて多くの品詞にまたがって散らばっていて、てんから品詞を賦与できない形態もある。

擬音語と擬態語はオノマトペと呼ぶこともある。オノマトペはもっとも一般的な定義では、現実の音を真似ている語、あるいは少なくともそのように見なされる語を指す。しかしながらこの術語は、声を含む音を表す語に対してだけでなく、動作の様態や、肉体的、あるいは精神的な状態を表す語に対しても、用いられることがある。声や音を表す語と、様態や状態を表す語を特に区別する必要がある場合に、擬音語と擬態語に分ける。

2. 1 日本語の擬音語と擬態語の形態的特徴

日本語の多くの方言がモーラをもち、日本語を仮名書きしたとき、「あ」「い」「う」「え」「お」「や」「ゆ」「よ」といった小さい仮名（「っ」を除く）以外のすべての仮名は、全て基本的に同じ長さで発音される。このひとつの単位がモーラにあたる。日本語学では一般に「拍（はく）」と言われる。日本語に特徴的なのは長音「ー」、促音「ッ」、撥音「ン」を1モーラとしていることであり、長音は長母音の後半部分を、促音は長子音の前半部分を切り取ったもので

あり、撥音は音節末鼻音や鼻母音をモーラとしたものである。

たとえば、「チョコレート」は「チョ」「コ」「レ」「ー」「ト」の5モーラである（4音節）。そして「キッチン」は「キ」「ッ」「チ」「ン」の4モーラである（2音節）。

日本語のオノマトペのほとんどは1モーラないし2モーラの基本形を持っている。モーラというのは何だろう。まず、モーラについて詳しく見てみよう。モーラ (Mora) とは、音韻論上、一定の時間的長さをもった音の分節単位である。音節とは異なり、各言語話者の心理的な印象によって決められる。音節はすべての言語がもっているが、モーラはもつ言語ともたない言語がある。

単に1モーラや2モーラだけで構成されている形態は、現代日本語においては稀だ。日本語のオノマトペの音韻、形態的な特徴は促音、撥音、母音の長音化や反復など色々ある。

促音：「っ」が付く。 例) かっ、さっ

撥音：「ん」が付く。 例) かん、さん

長音：（ー）によって母音が長くなる。 例) かー、さー

日本語オノマトペの中で反復形がよく見られるのはなぜだろう。これはオノマトペにおいて音と意味の関係がいつも正確ではないということを表す。反復形は通常、音や動作の繰り返しを意味する。しかし例えば、「カポカポ」や「ポッポッ」のように、動作が現実には何度も繰り返すことが出来るにも拘わらず、語幹は通常一度しか反復されない。現実の音や動作の複数の繰り返しにより近づけるために、反復形自体をさらに繰り返すことは可能であるが、一般には、オノマトペに用いられている反復形の数とそれによって表示される実際の音や動作の繰り返しの数は一致しない。

2. 1. 1 1モーラの擬音語と擬態語（基本形が1音節である語）

1) 一音節語 例) ふ（と）、つ（と）

2) 一音節語＋促音 例) そっ、かっ

3) 一音節語＋撥音 例) せん、かん、ばん

4) 一音節の母音が長音化されたもの 例) かー、がー、ぐー、ぎゃー

5) 4つの形態に促音が付いたもの 例) かーっ、さーっ

6) 4つの形態に撥音が付いたもの 例) かーん、ごーん、ぼーん

7) 2の反復形 例) くっくっ、ぽっぽっ

8) 3の反復形 例) かんかん、とんとん

9) 4の反復形 例) ぎーぎー、ぼーぼー

2. 1. 2 2モーラの擬音語と擬態語 (基本形が2音節である語)

- 1) 二音節語 例) ひし、ぐい
- 2) 二音節語+促音 例) がたっ、ぼとっ
- 3) 二音節語+「り」 例) がたり、ぼとり
- 4) 二音節語+撥音 例) がたん、ぼとん
- 5) 二音節の間に促音をはさむもの 例) とっか、はっし、すっく
- 6) 二音節の間に発音をはさみ、語末に「り」をとるもの 例) ぼったり
- 7) 二音節の語末に撥音をはさみ、語末に「り」をとるもの 例) ぼんやり
- 8) 二音節語の反復形 例) ばらばら、ごろごろ
- 9) 8)の変種 例) がさごそ、どぎまぎ
- 10) 3)の反復形 例) がたりがたり、ぼとりぼとり
- 11) 4)の反復形 例) がたんがたん、ぼとんぼとん
- 12) 9)+「り」 例) がたりごとり
- 13) 9)+撥音 例) がたんごとん
- 14) その他 すっからかん、とんちんかん、こけこっこう

前にも説明したように 日本語のオノマトペのほとんどは1モーラないし2モーラの基本形を持っている。そして一番一般的な形態は語基に促音、撥音、「り」が付加されたり、母音が長音化されたり、または語基の反復である。

2. 2 韓国語の擬音語と擬態語の形態的特徴

次のテーブルを見てみよう。1)は単独形、2)は反復形、3)は流音反復形の単語である。表1は擬音語の単独形、反復形と流音反復形の単語であり、表2は擬態語を示す。なお、表2には、動詞・形容詞からの派生語としての擬態語を含ませた。

表1 擬音語の3つの形

単独形	反復形	流音反復形
광(kwang), 딱(ddak), 뽕 (bbang), 야옹(yaong), 덜 킅(deolkeok), 철썩 (cheolsseok), 찰칵 (chalkak)	둥둥(dungdung), 꿀꿀 (kkulkkul), 멍멍 (meongmeong), 줄줄 (joljol), 짹짹(jjaekjjaek)	뽕강쟁강 (waenggangjaenggang), 왈가닥달가닥 (walgadaldalgadak), 왈랑 절랑(wallangjeollang)

表2 擬態語の4つの形

単独形	反復形	流音反復形	動詞・形容詞 からの派生
획(hwik), 썩 (ssaeng), 번 쩍 (beonjjeok), 방긋 (banggeut), 벌렁 (beolleong)	술술(sulsul), 필필 (peolpeol), 덩빙덩빙 (deombeongdeombeong), 뽕송뽕송 (bbosongbbosong)	싱글벙글 (singgeulbeonggeul), 티격태격 (tigyeoktaegyeok), 울 긋불긋 (ulgeotbulgeot)	띄엄띄엄 (ddieomddieom), 드문드문 (deumundeumun), 구불구불 (gubulgubul)

オノマトペの特徴の一つは反復形として使われる場合が多いということである。韓国語のオノマトペの形態も「ソグンソグン-소근소근」のように反復形が多い。これが一番基本的な形態に認識してきたのである。反復は意味上に複数、続き、反復などを表す。例えば、「水がポッと漏った」が一回的な動作といえ、水がポッポッと漏ったの方が反復的な動作を表すのである。もし、動詞が一回的な瞬間的な行為で、反復を許容しない時は単独形が選ばれ、反復が可能の文脈の場合は反復形が選ばれる。次の例文を見てみよう。単純的な状況と複数的な状況が可能である文脈があれば、一つ場合だけ可能であることもある。つまり、使われる動詞が一回的な瞬間で、反復を許容しない意味の時は単独計が選ばれ、反復の可能である文脈の時は反復形が選ばれる。

- (1) a. 바람에 문이 (덜컹, 덜컹덜컹) 소리를 냈다.
 風で戸が(がたん・がたんがたん)とした。
 b. 철수는 교통사고에 놀라서 병이 (덜컹,*덜컹덜컹) 났다.
 チョルスくんは交通事故に驚いて(どっと・*どっとどっと)病気になった。
- (2) a. 그녀는 (팔랑, 팔랑팔랑) 책을 넘겼다.
 彼女は(ぺら・ぺらぺら)とページをめくった。
 b. 철수는 순이와 연락을 (딱, *딱딱) 끊었다.
 チョルスくんはスナイさんと連絡を(きっぱり・*きっぱりきっぱり)絶った。

2. 2 日韓のオノマトペと意味との関連

音象徴 (sound symbolism) 、または phonetic symbolismとは母音と子音が各

各決まった意味を表すという前提で各音素が表す意味を示す言葉である。しかし、ここでの「意味」は形態素を「意味」を持った最小の単位だと正義した意味とは違う。形態素を正義してくれる「意味」は概念的な意味（conceptual meaning）を示すが、音声象徴の象徴意味とは概念的な意味でなく、感じ、即ち、語感に近い概念である。

日本語のオノマトペでは、どのような音がどのような状態に対応するのか。擬態語の方を見てみよう。『擬音語・擬態語辞典』（浅野鶴子、昭和53年）によると、母音である a i u e oのうち、eの音は他の母音と比べて少ない。これは多分国語史の問題と関係があると思われる。日本語で e は遅く発達したということだ。例えば、日本語でカラカラ、キリキリ、クルクルとコロコロは存在するが、ケレケレだけはない。

では、母音との意味の関係を見てみよう。まず、笑いを例であげて意味の違いを考えてみよう。

あはは	： 明るくておおらかな笑い	—	明るく大きな情感
いひひ	： 鋭くて病的な笑い	—	小さく鋭い情感
うふふ	： 胸に一物ある含み笑い	—	暗くてくすんだ情感
えへへ	： 下卑たお追従笑い	—	明るくて締まりのない情感
おほほ	： しとやかで上品な笑い	—	円やかで深みがあり、落ち着いた情感

次は促音、撥音と長音を見てみよう。「きっ、ぐっ、とっ」のように小さい「つ」が付くと、それによって、急迫した感じや、しばしば破裂的な感じを与える。例えば、「天井から雨がポッと漏った。」の文章で「ぼっ」を使うのによって、雨が速く、一回だけ漏ったイメージを与える。

それに対して、撥音は弾力性があり、跳ねる感じや、鳴り驚く感じを与える。例を挙げると、「鐘がかんかん鳴る」とか「ふんわり着陸する」などがある。最後に長音は時間的に継続する状態や、空間的な広がりのある状態を表し、転じて強調に用いられる。例) すー、かーん、ざー

上の特殊音節の他に意味と強い関係があるのは子音である。子音は清音と濁音に分けられる。子音は明るく、澄んで、軽い感じなのに対して、濁音は暗く、濁って、粗雑で、重い感じを与える。

第3章 オノマトペについての両言語の対照研究

3. 1 調査の概要

日韓のオノマトペの似ているところと違いを調べるために調査を実行した。まず、「クレヨンしんちゃん」の36巻と37巻を韓国語と日本語で読み、十三の場面の絵を選んだ。そして、オノマトペが入るところだけ空欄にして、絵を説明する文章を一つずつ作った。一文章に選べる選択肢は四つあった。例えば、まず絵を見ながら、その絵について書かれた文章を読んでもらう。つぎに、私が四つの選択肢について、相手の母国語でない言語（韓国語または日本語）で聞いてもらい、どの選択肢が一番適当か答えてもらう。調査に協力してくれた人は韓国人十五人、日本人十五人である。韓国人の協力者の年齢は十五歳から五十歳と幅広いものであり、平均年齢は二十五歳であった。調査に協力してくれた人々はみんな日本語の知識が全くなかった。この調査の目的は日韓の擬音語と擬態語の比較なので、韓国人は日本語がわからなくて、日本人は韓国語がわからない状態でこの調査を実行するのが大事だと思った。なぜなら、相手の言葉について何もわからない状態で、想像によって答えて欲しかったからである。

3. 2 調査の結果

調査の結果を、韓国人への調査と日本人への調査の結果を調査項目ごとに表3に示した。

表3 相手の言葉についての擬音語と擬態語の印象

調査番号	韓国人調査		日本人調査	
	選択肢	回答(%)	選択肢	回答(%)
1	ザーッ	0	싸아	80
	ずるっ	60	후루룩	6.6
	ふうー	40	휴우	0
	ドカドキッ	0	통당통당	13.3
2	ピーン	0	번득	6.6
	ポーッ	0	또오욱	0
	ばたん	0	철컹	0
	ポッポッ	100	득득	93.3
3	くるっ	26.6	휙	13.3
	ガーン	60	버럭	26.6
	ごっくん	6.6	꿀꺽	60
	おえーっ	6.6	우웁	0
4	ひそひそ	100	소근소근	93.3
	めそめそ	0	훌쩍훌쩍	0
	ムニャムニャ	0	음냐음냐	6.6
	カボカボ	0	또각또각	0
5	とぼ	0	터벅	0
	すっく	20	벌떡	13.3

	ゴボッ	0	에헛	0
	ずるずる	80	질질	86.6
6	ぐうう	6.6	꼬르륵	0
	さーっ	0	후다다닥	0
	こんこん	93.3	통통	93.3
	おんおん	0	영영	6.6
7	ごんごん	86.6	쿵쿵	80
	ぶるっ	0	부르르	0
	ぐうう	13.3	꼬르륵	6.6
	さーっ	0	후다다닥	13.3
8	トンカントンカン	33.3	똑딱똑딱	80
	ばたんばたん	0	철컹철컹	13.3
	ぴちよっぴちよっ	66.6	끈적끈적	0
	あせりあせり	0	허둥지둥	6.6
9	ドキューンドキューン	0	웅게웅게	0
	ピチャピチャ	6.6	우물우물	0
	ペロペロ	40	널름널름	53.3
	れろれろ	53.3	메롱메롱	46.6
10	いらいら	0	짜증짜증	0
	うずうず	6.6	근질근질	0
	ズキンズキン	6.6	옥신옥신	6.6
	かぼかぼ	86.6	또각또각	93.3
11	ぶるぶる	66.6	부들부들	66.6
	おどおど	33.3	안절부절	0
	むにゃむにゃ	0	음냐음냐	0
	ずるずるっ	0	후룩후룩	33.3
12	パチン	6.6	짹짹	66.6
	ゴソッ	86.6	부스럭	20
	ヴォー	6.6	부우	13.3
	ガーン	0	바락	0
13	くねくね	6.6	사뽀사뽀	6.6
	ひそひそ	6.6	소곤소곤	6.6
	ぎくぎく	13.3	멈칫멈칫	46.6
	ぱくぱく	73.3	우그적우그적	40

3. 3 韓国人が聞く日本語のオノマトペ

調査の結果は面白かった。大体私が予想していた結果と同じだったが、中には予想に反するものもあった。調査の結果について確実に言えることは日韓の擬音語と擬態語はある程度似ている音象徴を持っているということだ。そして、音節

だけでなく、考え方も似ていた場合も多かった。例えば、「天井から雨が_____と漏った」の文章で雨が反復的に落ちる様子を表すため十五人全員が正しい表現「ポッポッ」を選んだ。(図2) 選択肢の中には「ぼっ」もあったが、「ポッポッ」を選んだことが現実の音や動作の複数の繰り返す時はオノマトペに用いられている反復形がよく使われているということを証明するのである。このポイントをサポートする例えの中には「ポッポッ」のほかに「コンコン」、「カポカポ」などがある。日本人と韓国人の結果を比べてみよう。

一つには、両語ともに回答が類似したものである。例えば、「雨が降る様子」について、両言語の調査結果(図1と図2)に一つの特徴が見られる。

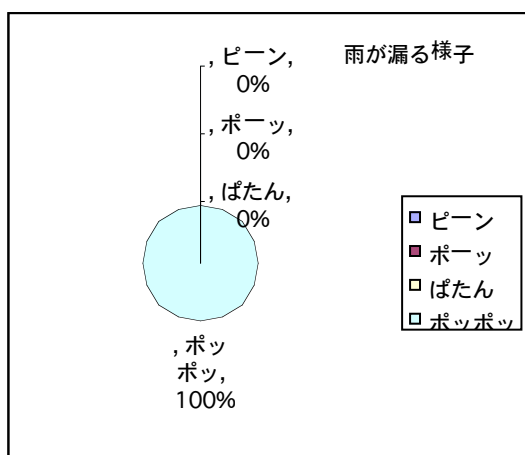


図1 韓国人の回答 (1)

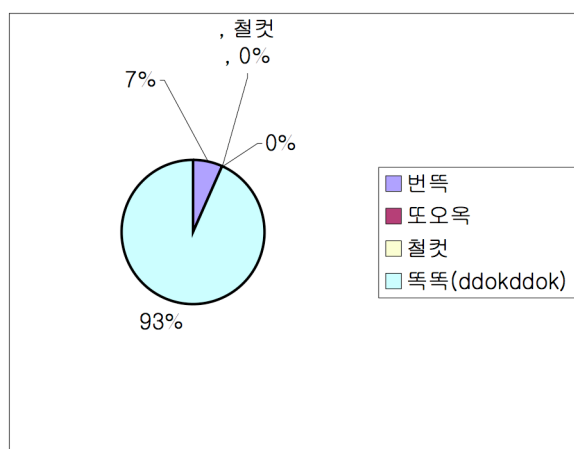


図2 日本人の回答 (1)

次に、私の予想に反する結果について紹介する。例えば、雨が降るようすをあらわす「ざーっ」という擬態語の代わりに一番多かったのは「ずるっ」であった(図3)。これはたぶん韓国語の中に「ズルック」という雨の降り方を表す単語の意味を思い出して影響されたからだと思う。というのは偶然にオノマトペの単語が実際に存在する韓国語の単語と混乱したからだと思う。図4を見ながら比べてみよう。

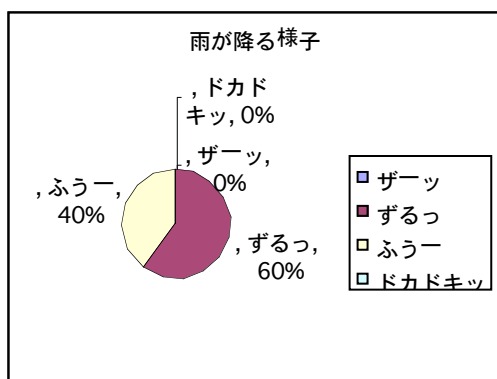


図3 韓国人の回答 (2)

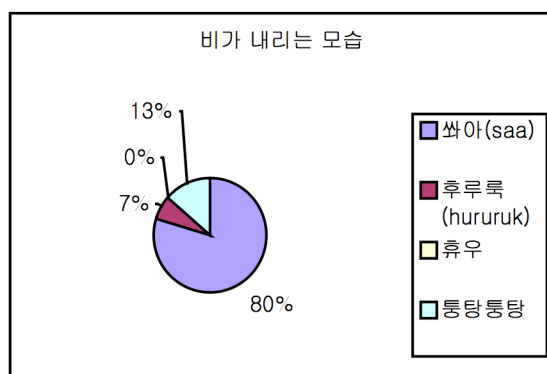


図4 日本人の回答 (2)

3. 4 日本人が聞く韓国語のオノマトペ

日本人が聞く韓国語のオノマトペの調査の結果は韓国人が聞くのよりもっとはつきりしていて、私の予想ととても似ていた。一つの問題だけ除外した全問の一番多かった答えは正しかった。調査に協力してくれた全員は韓国語の知識は全くないのに、こんな結果が出ているということは本当に面白いことである。調査をしながらぼやとした顔をしていた人がほとんどだったが、みんなオノマトペにあって日本語と韓国語の音声象徴がある程度にしていると感嘆するようであった。私がどう方法で選択肢を選んだかと聞いたら、日本語とオノマトペに似ている単語を選んだり、ただ聞いた単語の音を頭で想像し、一番絵とよく合っていると思う選択肢を選んだりしたと答えてくれた。

例えば、調査の問題4を見てみよう。「二人が_____としゃべっていた」の文章で、韓国人がすべて「ひそひそ」を回答したの(図5)に対して、日本人は選択肢 *sogunsogun, huljjeokhuljjeok, eumnyaeumnya, ttogakttogak* の中で、やはり一番多かった答えは *sogunsogun*であった(図6)。

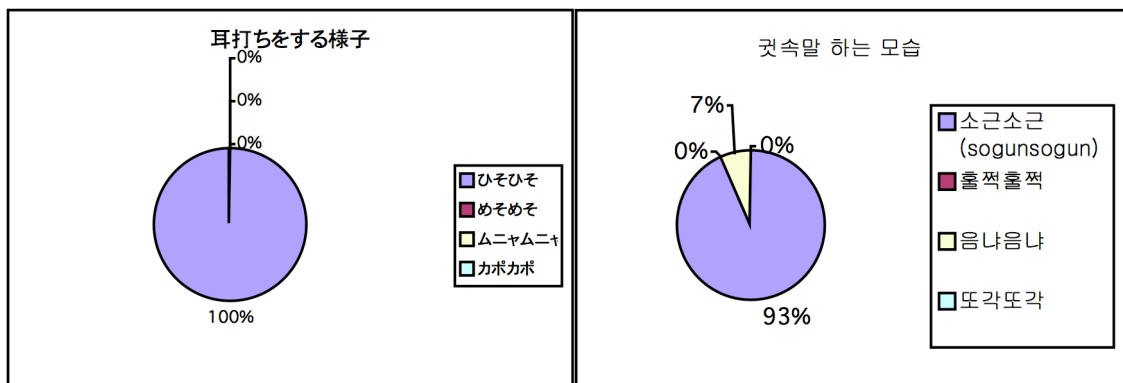


図5 韓国人の回答(3)

図6 日本人の回答(3)

日本語でも耳打ちをする様子を表す擬態語に「ひそひそ」がある。そういうわけで、日本人たちは「そ」が入っている「*sogunsogun*」を選んだと思う。この例を通じて自分の言葉の知識が選択肢を選ぶ時強い影響を与えたと言える。

第4章 結論

この研究を実際に始める前には日本語と韓国語は非常に似ているところが多いので、簡単な研究になろうと思ったが、違っていた。まず、この研究を通じてたくさんの日韓両語の擬音語と擬態語を勉強できたことにとっても満足している。一つの状況に使える表現がいくつもあり、辞書に載っていない表現も結構あった。

特に、漫画の場合は漫画家が自由に単語を新しく作るので、辞書に載っていない単語がかなり多かった。しかし、面白い点は漫画家がこの新しく作った単語を使ったのに、読者は何も問題なく読み続け、意味を完璧に分かるということである。

日本人と韓国人の考え方を知るために調査はとても効果的だったと思う。私自身がある程度日本語と韓国語の知識があるが、私と異なる意見があることが分かり、必ずしも私の意見が正しいとはいえないことが分かった。

両語の一番大きい共通点は形態的な特徴であるABABの反復形態と、母音と子音と意味の関係である。相手の言葉について全く知識のない状態で聞いても、70%以上は類似した印象を持ったことは本当に注目される価値があると思う。

被調査者は、韓国人も日本人もそれぞれの母語の類似表現を探す試みをした後に判断しているように観察された。その結果、母語に類似表現がある場合は、その影響を受けたことが考えられる。そのため、印象というより、既知の母語の影響により、反応に差が生じたことが考えられる。このことは、全く予想外の結果であった。

この研究を始める前には擬音語と擬態語がこんなに私たちの言語生活の中でよく使われているとは知らなかった。しかし、時間がたつにつれて、擬音語と擬態語は辞書に載っている化石化した言語だけではなく、日常語、通信言語などを通じて絶え間なく新しい表現が作られているということがわかった。

日本と韓国は地理的にも近いが、歴史的、文化的にも似ているところが多いため、こんな似ているところが多いと思われる。この研究をきっかけで(今度は日韓の擬音語と擬態語の違い、そして新しく作られている表現をもっと詳しく勉強したいと思う。

参考文献

- 浅野鶴子(1978)『擬音語・擬態語辞典』角川書店
- 채완 (2004) 『한국어의 의성어와 의태어』 서울대학교출판부
- Henshall, Kenneth G.(2002) *A Guide to remembering Japanese Characters*, Tuttle Publishing
- パンニパー, スントーンムニー (2002) 「日タイ両語における擬音語・擬態語について」『日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集 (第18期)』広島大学留学センター, pp. 1 -23.
- スコウラップ, ローレンス (1999) 『オノマトペ・形態と意味』くろしお出版

資料

- Yoshito Usui (2002) 「クレヨンしんちゃん」(日本語版31巻) 双葉社
Yoshito Usui (2003) 「クレヨンしんちゃん」(日本語版36巻) 双葉社
Yoshito Usui (2003) 「クレヨンしんちゃん」(韓国語版31巻) Haksan
Publishing
Yoshito Usui (2004) 「クレヨンしんちゃん」(韓国語版36巻) Haksan
Publishing

参考サイト

<http://ja.wikipedia.org/wiki/>